

高齢者の状況

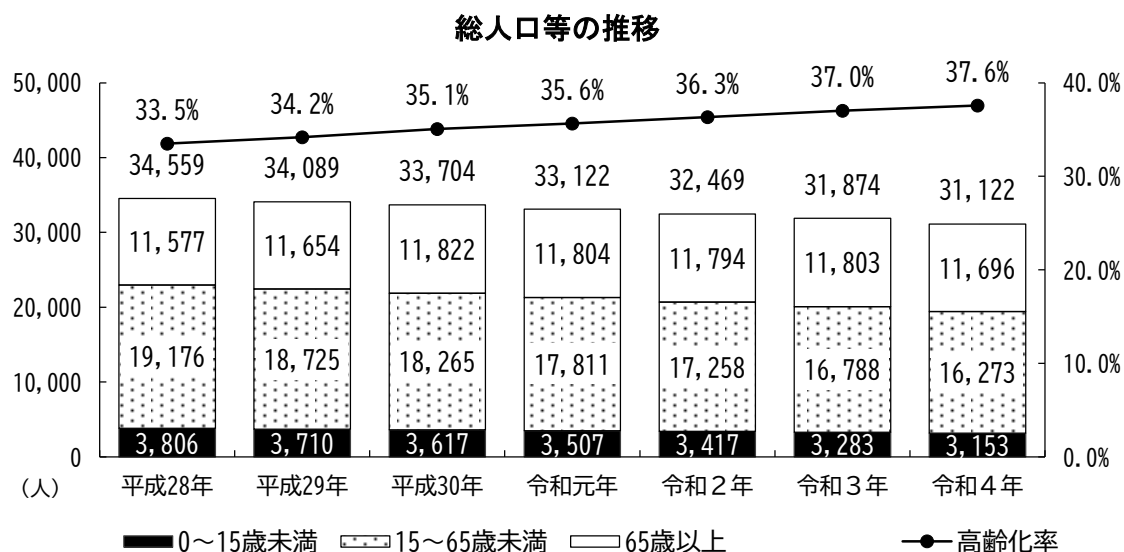
◎高齢者の状況のポイント

- ・総人口は減少傾向（令和4年 31,122 人）、高齢者人口は令和4年で 11,696 人、高齢化率は 37.6%で国（29.0%）・県（31.3%）を大きく上回る。
- ・高齢者人口のうち後期高齢者が 6,163 人（令和4年）、高齢者の 52.7%を占める。
- ・高齢者夫婦世帯（令和2年 1,583 世帯、平成17年の1.3倍）、高齢者単身世帯（令和2年 1,280 世帯、平成17年の1.5倍）が増加傾向。
- ・要介護認定者数（第1号被保険者）は令和3年度で 2,150 人、要介護度別の構成比で要介護3以上の割合が 43.2%と国（34.1%）、県（38.9%）を上回る。
- ・認定率は令和3年度で 18.6%、福井県（17.5%）を上回り、県内保険者で4番目の水準。
- ・総給付費の推移をみると、平成29年度以降微増傾向で推移し、令和3年度では約 35 億 5,900 万円。
- ・被保険者1人あたりの給付月額、全国や県と比較して「短期入所生活介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「地域密着型通所介護」、「地域密着型介護老人福祉施設」で高い。

（1）人口の動向

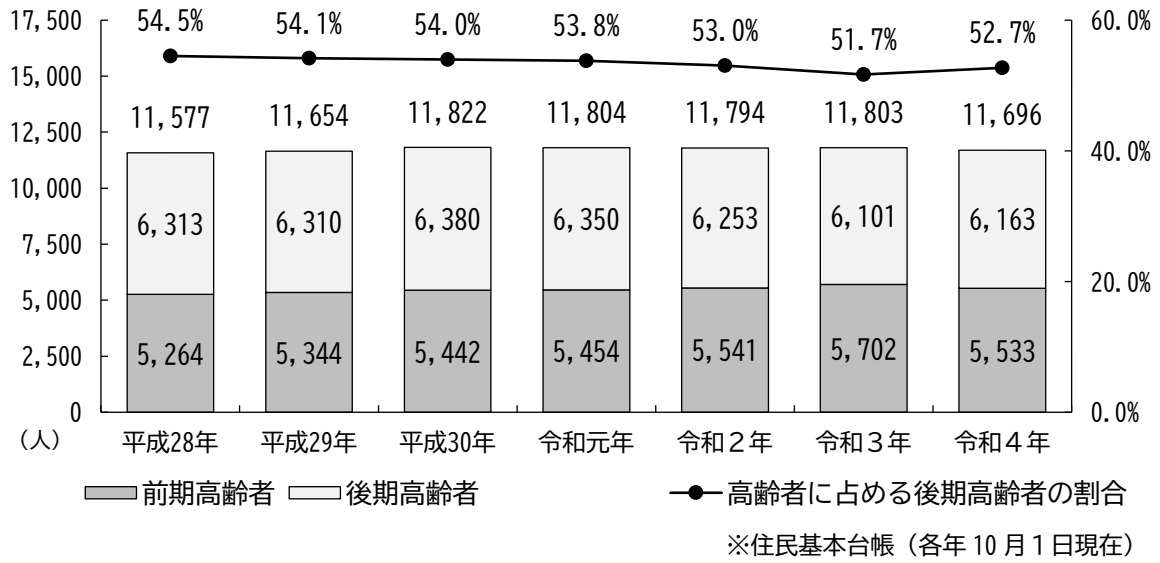
本市の総人口等の推移をみると、総人口は平成28年の 34,559 人から令和4年には 31,122 人へと一貫して減少傾向にあります。65歳以上の高齢者人口は令和4年で 11,696 人と、高齢化率は 37.6%と国（29.0%）・県（31.3%）を大きく上回っています

高齢者人口の状況をみると、令和4年で前期高齢者が 5,533 人、後期高齢者が 6,163 人と後期高齢者が 52.7%を占めています。



※住民基本台帳（各年10月1日現在）

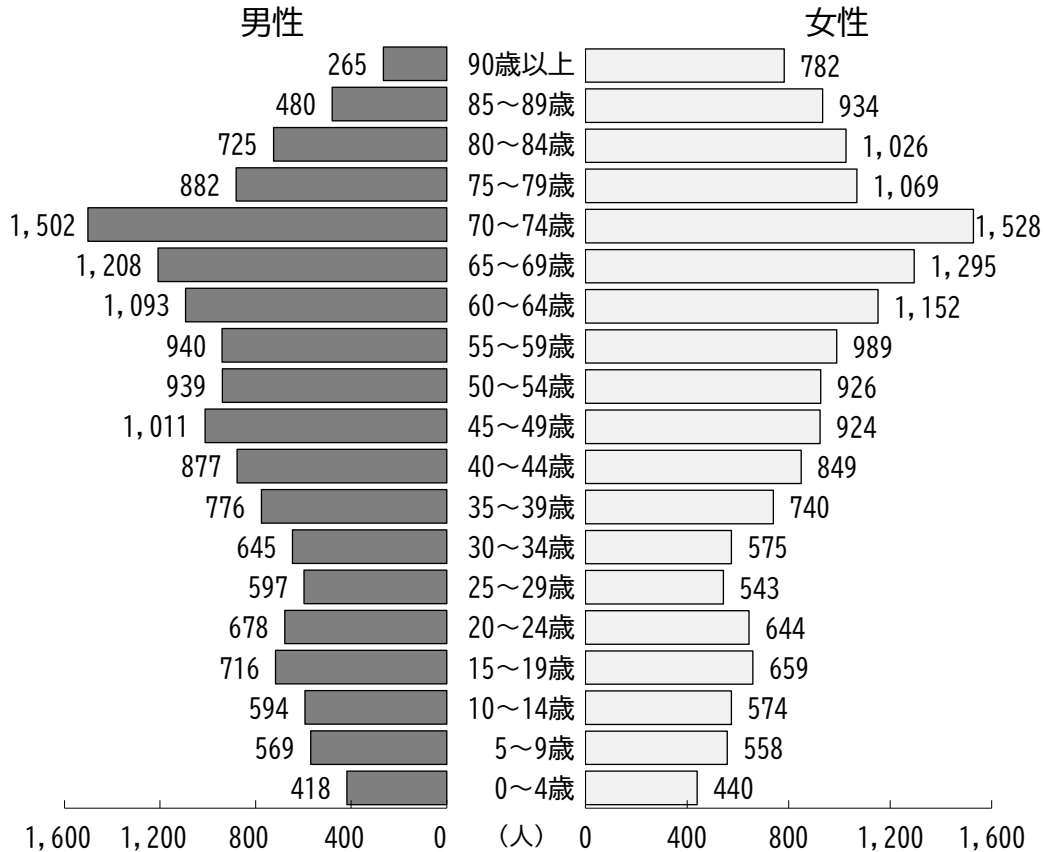
高齢者人口の推移



(2) 人口構造の状況

本市の人口構造を5歳階級別の人口ピラミッドで見ると、男性、女性ともに70～74歳の層の人口が最も多く、この層の団塊の世代（1947～49年生まれ）が令和7年（2025年）には75歳以上の後期高齢者となることが見込まれます。

人口ピラミッド（令和4年）



(3) 高齢者世帯の状況

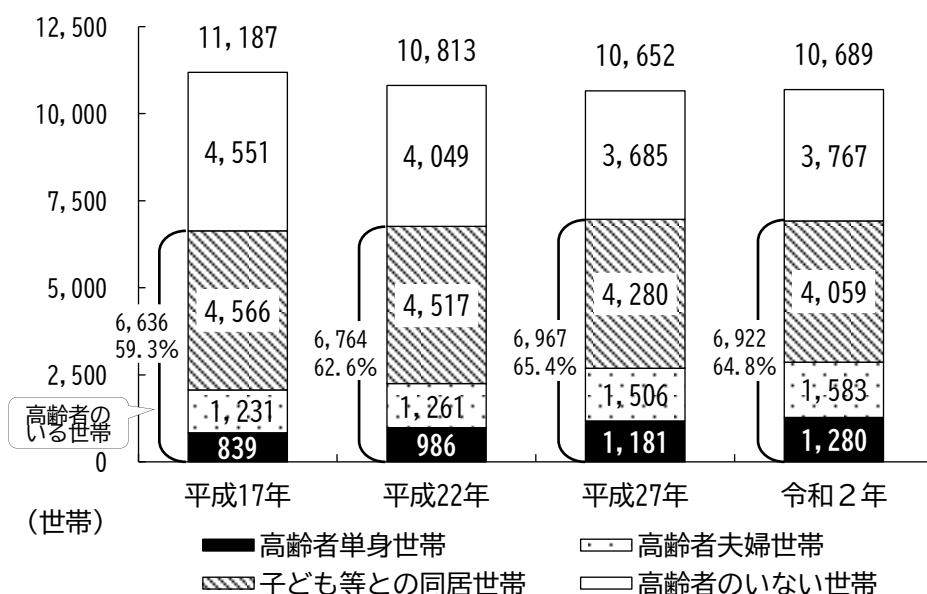
本市の一般世帯（施設等の世帯を除いた世帯）は、平成17年の11,187世帯から令和2年の10,689世帯へ減少しています。

高齢者のいる世帯をみると、平成17年の6,636世帯から令和2年の6,922世帯へ増加しています。

世帯構成別でみると、「子ども等との同居世帯」が減少する一方で、「高齢者夫婦世帯」（令和2年1,583世帯、平成17年の1.3倍）、「高齢者単身世帯」（令和2年1,280世帯、平成17年の1.5倍）が増加傾向にあります。

令和2年の一般世帯に占める高齢者世帯等の割合を国・県と比較すると、高齢者夫婦世帯（14.8%）で国（11.7%）・県（12.1%）の割合を上回っています。

高齢者世帯の状況



※国勢調査

一般世帯に占める高齢者世帯等の割合（国・県との比較）

（単位：%）

	大野市	福井県	全国
高齢者単身世帯	12.0	10.8	12.1
高齢者夫婦世帯	14.8	12.1	11.7

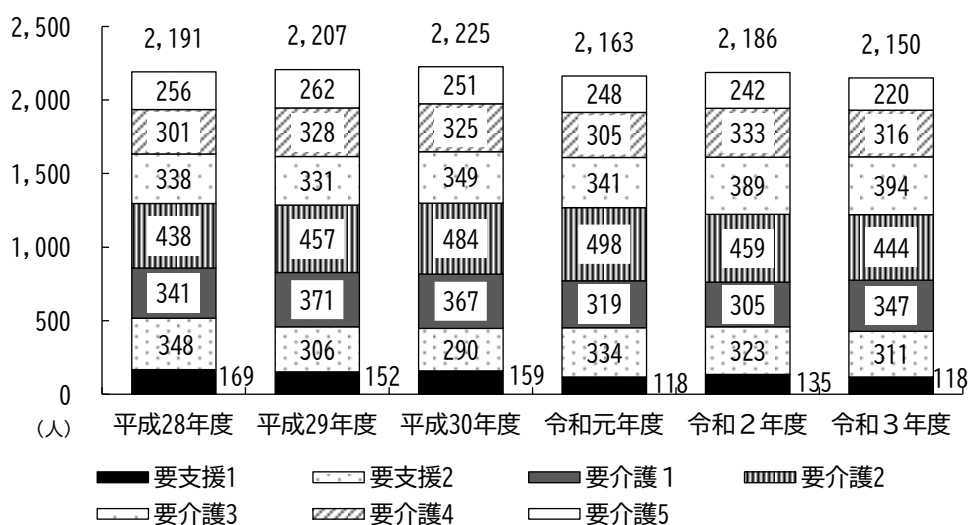
※令和2年国勢調査

(4) 要介護認定者

本市の要介護認定者(第1号被保険者)の推移をみると、平成30年度から2,100人台で推移し、令和3年度で2,150人となっています。要介護度別の構成比をみると、本市では要介護3以上の重度者の割合が令和3年度で43.2%と、国(34.1%)、県(38.9%)を上回ります。

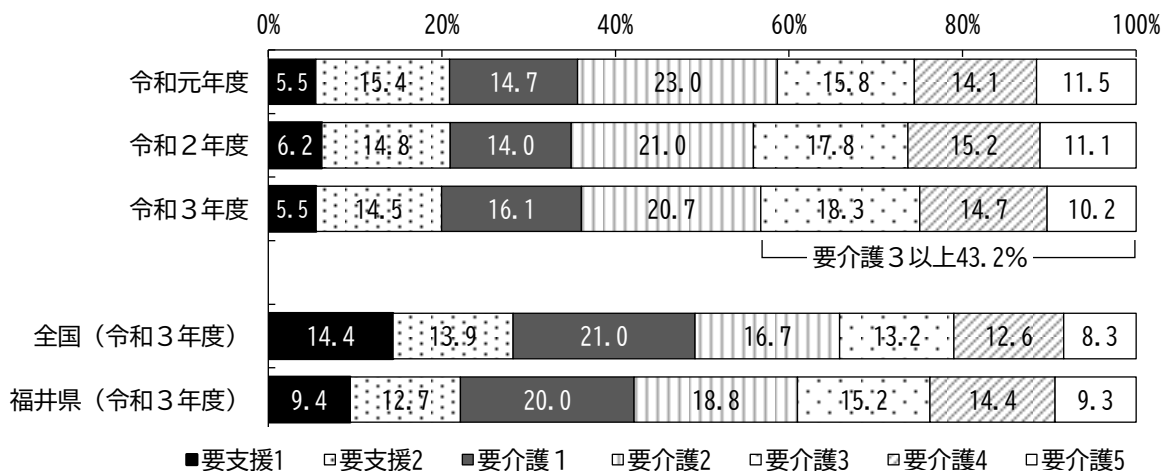
第1号被保険者における認定率をみると、本市は国、県を上回って推移してきましたが、令和3年度では18.6%と国(18.9%)を下回っています。また、認定率を県内保険者(市町)で比較すると、4番目に高い水準となっています。

要介護認定者(第1号被保険者)の推移



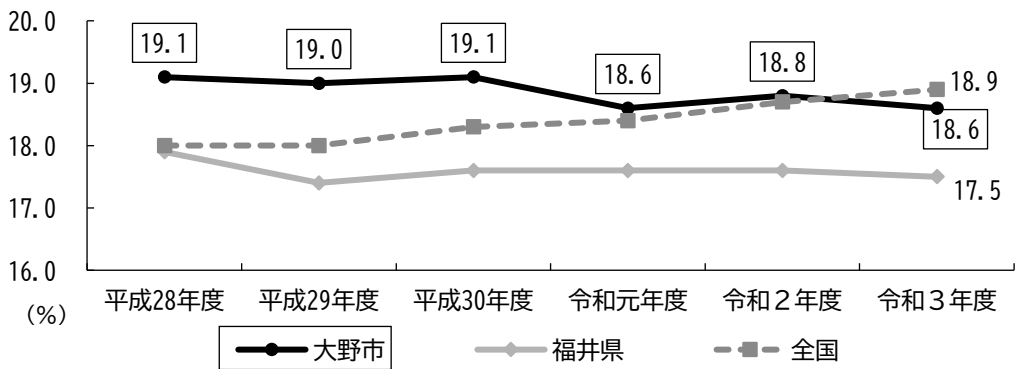
※介護保険事業状況報告年報(各年度3月末、令和3年度は月報)

要介護認定者(第1号被保険者)構成比の比較



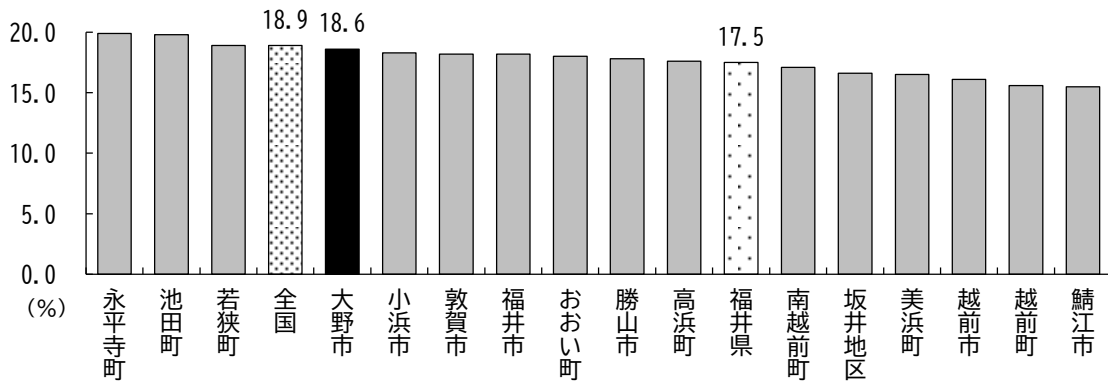
※介護保険事業状況報告年報(各年度3月末、令和3年度は月報)

認定率（第1号被保険者）の推移



※介護保険事業状況報告年報（各年度3月末、令和3年度は月報）

県内保険者の認定率（第1号被保険者）

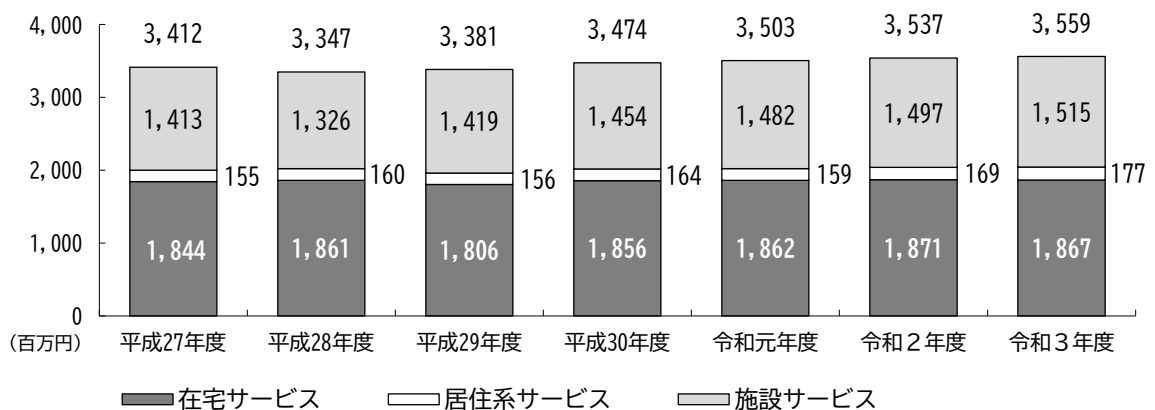


※介護保険事業状況報告月報（令和4年3月末）

（5）総給付費の推移

総給付費の推移をみると、平成29年度以降微増傾向で推移し、令和3年度では約35億5,900万円となっています。サービス系統別に直近の傾向をみると、在宅サービスはほぼ横ばいですが、施設サービスは微増傾向で推移しています。

総給付費の推移



※介護保険事業状況報告年報（各年度3月末、令和3年度は月報）

(6) 介護サービスの給付状況（被保険者1人あたりの給付月額）

介護サービスの給付状況をみると、全国や県と比較して「短期入所生活介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「地域密着型通所介護」、「地域密着型介護老人福祉施設」での被保険者1人あたりの給付月額が非常に高くなっています。

介護サービスの給付状況（被保険者1人あたりの給付月額）

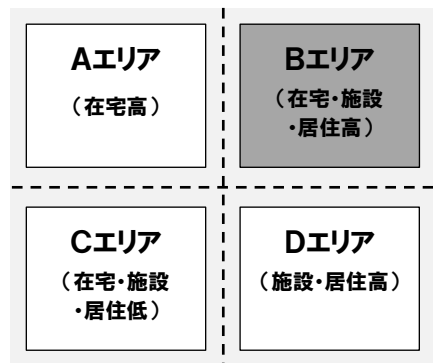
		大野市	全国	福井県	対国比率	対県比率
訪問介護	(円)	912	2,244	926	40.6%	98.5%
訪問入浴介護	(円)	69	118	48	58.5%	143.8%
訪問看護	(円)	689	796	720	86.6%	95.7%
訪問リハビリテーション	(円)	80	129	68	62.0%	117.6%
居宅療養管理指導	(円)	18	337	64	5.3%	28.1%
通所介護	(円)	3,607	2,646	3,267	136.3%	110.4%
通所リハビリテーション	(円)	923	950	1,161	97.2%	79.5%
短期入所生活介護	(円)	1,905	871	1,256	218.7%	151.7%
短期入所療養介護	(円)	23	97	119	23.7%	19.3%
福祉用具貸与	(円)	865	852	816	101.5%	106.0%
特定福祉用具販売	(円)	30	34	29	88.2%	103.4%
住宅改修	(円)	89	83	67	107.2%	132.8%
特定施設入居者生活介護	(円)	305	1,339	796	22.8%	38.3%
介護予防支援・居宅介護支援	(円)	1,355	1,315	1,183	103.0%	114.5%
認知症対応型通所介護	(円)	203	161	347	126.1%	58.5%
小規模多機能型居宅介護	(円)	594	599	1,275	99.2%	46.6%
認知症対応型共同生活介護	(円)	967	1,545	1,424	62.6%	67.9%
看護小規模多機能型居宅介護	(円)	489	135	346	362.2%	141.3%
地域密着型通所介護	(円)	1,443	855	558	168.8%	258.6%
地域密着型介護老人福祉施設	(円)	2,656	506	1,229	524.9%	216.1%
介護老人福祉施設	(円)	6,903	4,217	4,875	163.7%	141.6%
介護老人保健施設	(円)	1,249	2,783	3,546	44.9%	35.2%
介護医療院	(円)	392	424	488	92.5%	80.3%

※介護保険事業状況報告月報。令和4年3月末。赤字は国・県対比で200%を超える項目

(7) 第1号被保険者1人当たり給付月額状況

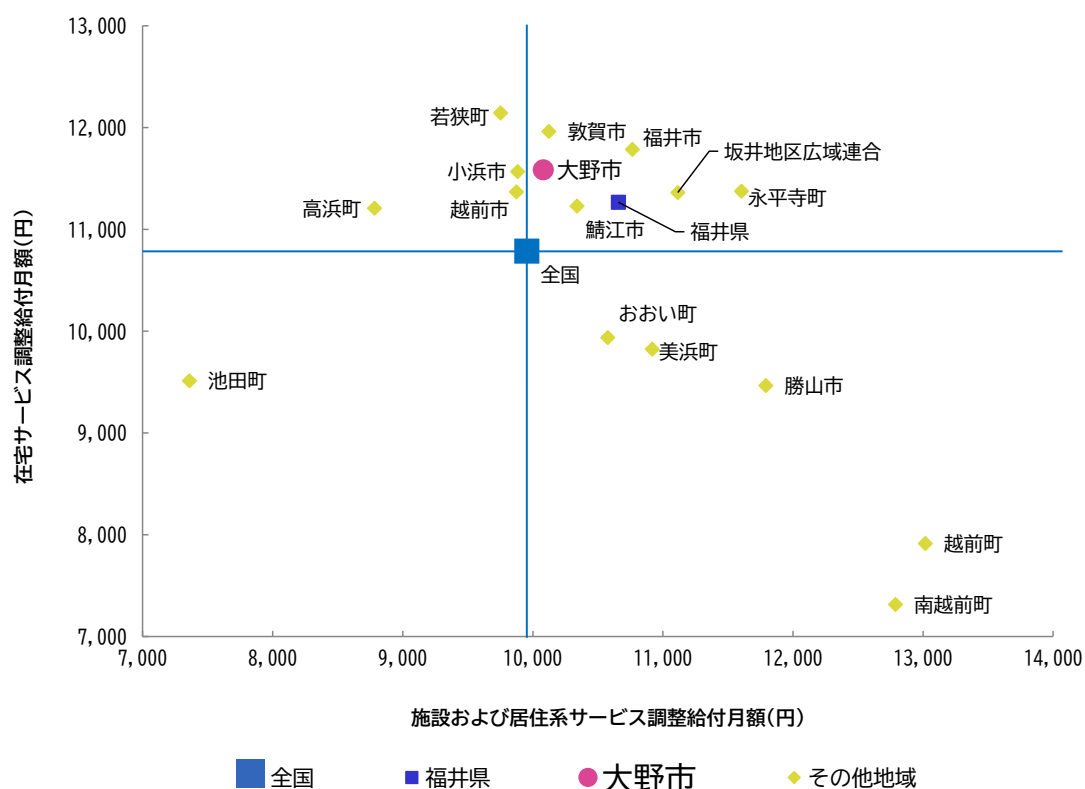
本市の給付特性を把握するため、調整済第1号被保険者1人当たり給付月額を、在宅サービスと施設及び居住系サービスという軸で分け、散布図で分析しました。

全国平均を中心に右図のような4象限に区分すると、Aエリアは調整済の在宅サービス給付月額が高い地域、Bエリアは在宅、施設及び居住系サービスともに調整済の給付月額が高い地域、Cエリアは在宅、施設及び居住系サービスともに調整済の給付月額が低い地域、Dエリアは調整済の施設及び居住系サービス給付月額が高い地域となります。



本市は、Bエリア（在宅、施設及び居住系サービスともに調整済の給付月額が高い地域）に分類されています。

調整済第1号被保険者1人当たり給付月額（在宅サービス・施設及び居住系サービス）



※「介護保険総合データベース」及び総務省「住民基本台帳人口・世帯数」（令和2年）、調整済第1号被保険者1人当たり給付月額とは、給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額を意味します。